

令和元年度

事務事業評価表 A (平成30年度の実績評価)

記入年月日
平成 31 年 4 月 15 日

Table with columns for 事務事業名 (新庁舎建設検討事業), 事業区分 (新規/継続, 単独/補助), 担当 (060306001016), 所属課 (010201), 所属課 (企画課), 事業期間 (期間限定複数年), 予算科目 (01, 02, 01, 08, 01, 00), 法令根拠.

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

Table with 2 columns: ①事務事業の概要 (事務事業の全体像) and ②担当が行う業務の内容・やり方・手順. Includes text about disaster prevention and office construction plans.

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

Table with columns for ①手段 (担当者活動内容), ④活動指標 (活動量を表す指標), ②対象 (誰、何を対象にしているのか), ⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標), ③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか), ⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標). Includes data for office construction committee meetings, population, and staff.

(3) 投入量 (事業費) の推移

Table showing input amounts (事業費) for 29, 30, and 01 fiscal years. Includes categories like 国庫支出金, 県支出金, 地方債, 使用料・手数料, その他, 一般財源, and 正規職員従事人数.

Table showing 30年度事業費実績 (千円) and 01年度事業費予算 (千円). Includes items like 08 報償費 and 13 委託料.

(4) 当該年度の実施内容

Table with 4 columns: 01年度の事業内容, 02年度の事業内容, 03年度の事業内容. Includes implementation details for basic plan formulation and design.

事務事業名	新庁舎建設検討事業	事務事業No.	60306001016	所属課	企画課
-------	-----------	---------	-------------	-----	-----

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 平成17年の合併時には、新市建設計画において、新庁舎については合併後に検討とされている。平成23年の東日本大震災において庁舎が被災し、改めて耐震基準の調査をおこなったところ、大和庁舎東側の新庁舎のみが耐震基準を満たしている状況であった。また、多くの職員が決裁などの事務で庁舎間を移動しているなどのデメリット解消のため、平成29年度より検討委員会が開催されている。
(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか? 現在、学校の統廃合などが計画されているため、財政面での懸念があるとの意見が出ている。
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評 価 項 目

目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 庁舎の一本化は職員数の適正化や災害時の対策拠点整備も兼ねているため結びついている。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 庁舎建設は市の拠点となるため妥当である。
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある 今後、基本計画や設計を行うため、住民視点よりサービス向上の検討及び予算削減などの余地はある。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 現在の庁舎を引き続き使用するため、耐震基準を満たしていない庁舎を使用となるため影響がある。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか? (市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名 <input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 庁舎の代替えとなる施設がない
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?) <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある 施工方法や現在の庁舎の活用などの検討により削減の余地はある。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある 新庁舎の位置などで市民に不均衡にならないようにする必要がある。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	(2) 全体総括(振り返り、反省点) 新庁舎建設については、建設検討委員会を策定し、計8回の検討を行っている。新庁舎の位置については基本構想により「大和地区」となり、現在の大和庁舎の東側部分を活用する計画となっている。
(3) 今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止	(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要) コスト 削減 維持 増加 成果 向上 ○ 維持 低下
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 新庁舎建設については、合併特例債を活用しての建設となるが、なるべく低コスト市民が納得できるような庁舎建設が必要であると思われる。	(6) 事務事業優先度評価結果 成果優先度評価結果 ③ コスト削減優先度評価結果

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価 課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> A A:継続(現状維持) C:終了、廃止、休止 B:継続(改革改善を行う) D:2次評価へ提出	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合) 確認欄 <input type="checkbox"/>
--	---